



**土砂災害にも注意を**

土砂災害は大雨、台風、長雨により発生し、「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の3つに分類されます。

土砂災害には、次のような前兆現象が起こります。これらを確認した場合はすぐに斜面などから離れ、身の安全を図る行動をとってください。

〔土石流〕

- ▼急に川の水が濁り流木が混ざる
- ▼山鳴りがする
- ▼雨が降り続けているのに川の水位が下がる

〔地すべり〕

- ▼沢の水や井戸水が濁る
- ▼斜面から水が噴き出す
- ▼地面にひび割れができる

**避難の呼びかけ手段**

市からの避難の呼びかけ（避難勧告などの発令）は、同報無線や市ホームページのほか、「緊急速報メール」（N

呼びかけの種類は発令時の状況によって異なり、住民に求めらるる行動も異なります。正しく理解し、呼びかけがあったときには速やかな避難行動をお願いします。

**市からの呼びかけで迅速な避難を**

台風や豪雨のとき、市では最新情報を分析し、気象台などと連携しながら市内の状況を常に監視しています。災害が発生する恐れがある地域や災害が発生した地域の皆さんに対しては、避難の呼びかけを実施（避難勧告などを発令）します。

「がけ崩れ」

▼がけから水がわき出している

▼がけから小石がパラパラ落ちる

▼がけに亀裂ができる

土砂災害の危険度が高まったときには、「土砂災害警戒情報」が県および静岡地方気象台から共同発表されます。

**実際に避難の呼びかけがあった場合は…**

▼

昼夜の滞りも考え、自分自身が使用する**毛布**などの寝具や**2食分程度の食料**を準備してから避難しましょう。

安全で避難しやすい服装を用意し、食料や飲料水、懐中電灯、携帯ラジオなどの非常用品や、非常時に持ち出す貴重品をまとめておきましょう。また、携帯ラジオの予備電池や携帯電話の充電にも注意し、毛布なども用意しましょう。

**避難用品や非常用品の用意も忘れずに**

緊急速報メールは、災害発生の危険度が高くなったときに皆さんに皆さんの携帯電話へ強制的に送信されます。

受信拒否設定となっている場合や、一部の携帯電話には緊急速報メールが届きません。受信設定や機能の有無などについては、携帯電話会社へお問い合わせください。

T・Dトコモでは「エリアメール」と呼ぶ場合があります）で実施します。

緊急速報メールは、災害発生の危険度が高くなったときに皆さんに皆さんの携帯電話へ強制的に送信されます。

受信拒否設定となっている場合や、一部の携帯電話には緊急速報メールが届きません。受信設定や機能の有無などについては、携帯電話会社へお問い合わせください。

知っていますか？避難情報

無理な避難をしない「垂直避難」も有効

夜間や雨脚が強い状況下での子どもや高齢者、足腰が不自由な人などの避難は大変危険です。無理に避難所へ移動せず、住宅の2階など、高いところへの避難（垂直避難）も有効です。河川の近くや土砂災害の危険区域にお住まいの人は、避難所への避難を優先してください。

避難勧告などの種類と住民に求める行動

| 情報の種類         | 発令時の状況             | 住民に求める行動   |
|---------------|--------------------|--|
| 避難準備・高齢者等避難開始 | 人的被害が発生する可能性が高い    | 高齢者など、避難に時間のかかる人は避難開始。その他の人はいつでも避難ができるよう準備         |
| 避難勧告          | 人的被害が発生する可能性がさらに高い | 避難所へ速やかに避難開始（または高いところへ移動）                          |
| 避難指示（緊急）      | 災害の前兆現象が発生し切迫している  | いまだに避難していない人は緊急に避難。避難の時間的余裕がない場合は、生命財産を守る最低限の行動をとる |

低・事態の深刻度・高



近年、全国各地で局地的豪雨や台風による、大規模な風水害や土砂災害が発生しています。ここ数年の降雨状況が局地的・短時間豪雨化しているほか、接近する台風も巨大化傾向にあり、災害が発生する危険度が高くなっています。風水害や土砂災害から身を守るためには、最新の気象情報などに注意し、市から避難の呼びかけがあったときには、正しく迅速に行動することが重要です。家庭や地域で、風水害や土砂災害について理解し、有事の際に適切に行動できるよう確認しておきましょう。

問い合わせ 防災課 西原 ☎030056

梅雨や台風の季節が到来します  
**台風や集中豪雨**から身を守るために

▲平成30年7月の西日本豪雨では、大規模な水害が発生。本市からは広島県呉市に職員を派遣し、災害支援を行った。写真はその際に職員が撮影したものの。

**災害対策の第一歩は「情報収集」から**

風水害や土砂災害対策の第一歩は「情報収集」です。天候の推移や河川の状況など、最新の情報を把握することで、避難の準備や心構えができ、市から避難の呼びかけがあったときに、すぐに行動できます。

家庭や地域では、地上デジタルテレビのデータ放送やインターネットから最新の情報が分かります。

**自宅や地域の危険箇所と避難先の確認を**

平常時から、自宅周辺や地域の危険箇所を知っておくことで、いざ避難となったとき危険な場所を避けて安全に避難できます。また、避難先も家族で確認しておきましょう。市ホームページでは、平常時から災害に備えるための情報をお知らせしています。

情報収集が身を守る

**インターネットによる情報収集**

気象庁 (<http://www.jma.go.jp>) 雨雲の動き、台風の勢力や進路の防災情報（天気予報や降雨状況、河川水位など）が見られます。「d」ボタンは、テレビの機種によって配置が異なります）

県が運営するホームページで、萩間川や勝間田川、坂口谷川の水位情報などが確認できます。

**地上デジタルテレビのデータ放送**

地上デジタルテレビのリモコンの「d」ボタンから、データ放送の防災情報（天気予報や降雨状況、河川水位など）が見られます。「d」ボタンは、テレビの機種によって配置が異なります）

県が運営するホームページで、萩間川や勝間田川、坂口谷川の水位情報などが確認できます。

市では、河川の決壊や氾濫を想定した「牧之原市洪水ハザードマップ（洪水避難地図）」を全戸配布しています。このハザードマップは、市ホームページからも閲覧できます。また、県が順次調査を進めている市内の土砂災害危険箇所（区域）も、同じページから確認できます。

牧之原市 洪水ハザードマップ

で 検索

平常時から区や町内会の避難地を確認しておきましょう。

牧之原市 お住まいの避難地

で 検索